

# 相模大野図書館 図書館アドバイザー事業

## ■ 連携している団体等の名称

## ■ 代表団体の連絡先

相模原市 生涯学習部 相模大野図書館  
電話 042-749-2244

Eメール ono-tosyo@city.sagamihara.kanagawa.jp  
ホームページ <http://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp>



## 事業の目的

この事業は、図書館利用者からのご意見やご提案を受け、利用者との協働による図書館運営を推進することを目的に、市長の推奨するパートナーシップ推進事業の一環として、平成14年度から相模大野図書館で試行的に実施しているものです。

## 事業の概要

平成14年11月から12月にかけて館内掲示と図書館報により公募を行い応募された7名の方に図書館長から委嘱を行いました。

会議は、平成14年度から平成15年度にかけて合計4回開催され図書館内でのマナーやパソコンなどの利用に関すること、リクエスト本の対応や購入、フロアの構成や将来の図書館のあり方等に至るまで、様々な課題について話し合われました。当初は、アドバイザーの方々からの積極的な問題提起を期待したものの、初めての試みであったこともあって、実際には懸案になっている事項などを図書館側から提示し、それに対して利用者としての立場からご意見をいただく形となりました。このアドバイザー会議を受けて、持込みパソコンを利用できるコーナーを一般席と別に設置したり、喫煙場所を移動するなどの改善を行っております。

この事業は、今年度も継続して行われ、アドバイザーの方々の貴重なご意見やご提言をもとに、今後とも使いやすく喜んでいただける図書館運営を心がけてまいります。

## 今後の課題・展望

- 1 アドバイザー人数の増員（初年度7名・次年度5名）  
公募方法の改善
- 2 アドバイザーOBの活用  
継続的な図書館との関わりの場の設置（アドバイザー経験者）

# 橋本図書館 ビジネス支援サービス

## ■ 連携している団体等の名称

特定非営利活動法人 相模原エスティアート  
相模原市（橋本図書館）

## ■ 連絡先

橋本図書館  
〒229-1103  
相模原市橋本3-28-1  
mewe橋本6F  
電話 042-770-6600



Eメール [hashimoto-tosyo@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:hashimoto-tosyo@city.sagamihara.kanagawa.jp)  
ホームページ <http://www.lib.sagamihara.kanagawa.jp/>

## 事業の目的

起業家の自立や新事業の創出を促し、地域経済の活性化を図るため、橋本図書館でビジネスに関する情報提供を行うとともに、創業等、ビジネスに関する相談を実施しています。

## 事業の概要

1. ビジネス支援コーナーの設置
  - ・ ビジネス関連図書、雑誌の閲覧・貸出
  - ・ 統計資料・ビジネス関連調査資料の閲覧
  - ・ 起業情報や起業家支援の資料やパンフレット等の配布
2. 有料データベースによる情報提供
  - ・ 専用端末から日経各紙のビジネス情報(日経テレコン21の閲覧)※1時間無料で利用できます。
3. ビジネスに関するレファレンスの実施
  - ・ 図書館職員による調べもののお手伝い
4. ビジネスカウンセリングの実施

「自分で事業を始めたいけど、誰か相談にのって欲しい。」、「自分の能力を活かして地域のためになることをしたいけどどうすればいい？」など、ビジネスや地域活動に関する事をお気軽にご相談ください。経験豊富なビジネス相談員があなたの疑問・悩みについて一緒に考えます。

ビジネスカウンセリングの相談員は、特定非営利活動法人 相模原エスティアートの方々です。様々な分野の経験豊富な相談員さんが待機しており、ご相談の内容に応じて得意分野の相談員さんが対応してくれます。

  - ・ 原則、毎月第1・3木曜日に実施(予約制、申込窓口は橋本図書館調べものコーナーです)

# 相模原市文化財調査・普及員制度

## ■ 連携している団体等の名称

相模原市文化財調査・普及員  
(現在の登録者 43名)  
相模原市教育委員会文化財保護室



文化財パトロールの様子

## ■ 代表団体の連絡先

相模原市教育委員会文化財保護室  
〒229-8611  
相模原市中央2-11-15  
電話 042-769-8371  
FAX 042-754-7990  
Eメール  
bunkazai@city.sagamihara.kanagawa.jp

スタッフとして参加した  
古民家園事業  
正月飾り作り



### 事業の目的

文化財調査・普及員制度は行政と市民とのパートナーシップに基づいて、文化財の保存と活用を図るために導入されました。

この制度の導入により、文化財に関心のある市民に活躍の場を提供するとともに、行政においても地域の文化財の細かい状況把握が可能になるなどの効果が期待できます。

### 事業の概要

文化財調査・普及員事業の主な活動は文化財パトロールと教育委員会事業へのスタッフとしての参加で、平成15年度に全10回の講習会と推薦会による推薦を経て、現在43名の登録者が活動しています。

文化財パトロールは5つの地域班に分かれ、地域班ごと自主的に打合せやフィールドワークを実施し、文化財マップ作りの作成に取り組んでいます。各地域班には運営担当と広報担当があり、定期的に文化財保護室と打合せを行い、連携を図っています。

教育委員会事業へのスタッフとしての参加は遺跡見学会、民俗芸能大会、古民家園事業などにおいて、受付、記録、講師などの助手として活躍し、文化財普及活動の一翼を担っています。

その他、文化財調査・普及員機関誌「さねさし」(“さねさし”は相模国の枕詞)を発行したり、文化財ボランティアとして資質向上を図るため、発掘調査講習会や文化財ボランティアについての研修を実施しました。

### 今後の課題・展望

平成17年度は地域班に加え分野別班を創設し、文化財調査・普及員活動を充実させていきます。さらに、普及事業担当を設けて、古民家園などを拠点とした文化財調査・普及員の企画・運営による事業を検討し、より多くの市民に文化財及び文化財調査・普及員の活動を普及できる事業を展開したいと考えています。

また、平成17年度は現在の登録者の少ない地域を中心に第2期募集を行い、どの地域においても身近に文化財調査・普及員が存在する体制を整えていく予定です。

# いきいきフォーラム

## ■ 連携している団体等の名称

さがみはら男女共同参画推進員

## ■ 代表団体の連絡先

相模原市 企画部 男女共同参画課  
電話 042-769-8205

Eメール danjo@city.sagamihara.kanagawa.jp



## 事業の目的

望ましい男女共同参画の実現に向け、男女共同参画に関する市民意識の高揚を図る。

## 事業の概要

講師を招き、男女共同参画に関する講演会を開催した。

事業の企画・当日の運営については、公募市民の「さがみはら男女共同参画推進員」との協働により実施した。

(内容)

- ・邦楽コンサート 金子 朋沐枝さん、坪井 智子さん(お箏)
- ・講演会「女と男の素敵な関係」 講師 広瀬 久美子さん
- ・参加者数 246名

## 今後の課題・展望

「さがみはら男女共同参画推進員」の任期が2年であり、さらなる男女共同参画の普及・啓発のために、後任の育成、及び、人材の確保をする必要がある。

# 市民平和のつどい

## ■ 連携している団体等の名称

「市民平和のつどい」実行委員会

## ■ 代表団体の連絡先

事務局：相模原市企画部渉外課

電話：042-769-8207

Eメール shogaika@city.sagamihara.kanagawa.jp



## 事業の目的

「核兵器廃絶平和都市宣言」の趣旨に基づく平和思想の普及啓発を図るため、「市民平和のつどい」を実施する。

## 事業の概要

- 1 「市民平和フォーラム」 平成16年11月7日(日)あじさい会館
  - (1) 基調講演:テーマ「中東紛争と石油」 講演者 水口 章(敬愛大学助教授)
  - (2) パネルディスカッション:テーマ「平和な世界のために私たちに出来ることは何か」  
コーディネーター:福嶋輝彦(桜美林大学教授)  
パネリスト:鎌仲ひとみ(映画監督)、幸田シャミン(元ニュースキャスター)  
片山博文(桜美林大学助教授)、佐藤一子(NPO法人理事長)  
水口 章(敬愛大学国際学部助教授)
- 2 写真展 平成16年11月6日(土)～14日(日)相模大野ギャラリー  
長倉洋海氏の「ヘスースとフランシスコ」(30点)を展示
- 3 映画「ヒバクシャ 世界の終わりに」 平成16年11月7日(日)あじさい会館
- 4 パネル巡回展 平成16年11月6日(土)～7日(日)あじさい会館ロビー他
- 5 被爆者・戦争体験者のおはなし 平成16年11月14日(日)東林公民館他

## 今後の課題・展望

「市民平和のつどい」実施後の実行委員会で、事業への市民参加が少なかった点が反省点としてあげられた。事業の市民周知については、広報さがみはらやポスター、チラシの他、テレビやFM放送、タウン紙など、考えられる媒体を活用した。

また、実行委員も市民団体や学校等への呼びかけを行うなど努力したが、結果的に参加者が少なかった。効果的な市民周知方法が今後の課題である。

# 相模原市民まつり

## ■ 連携している団体等の名称

相模原市民まつり実行委員会

## ■ 代表団体の連絡先

《実行委員会事務局》  
相模原市役所 商業観光課  
〒229-8611  
相模原市中央2-11-15  
電話 042-769-8236



Eメール shokan@city.sagamihara.kanagawa.jp  
ホームページ <http://city.sagamihara.kanagawa.jp>

### 事業の目的

メインテーマを「62万人のふるさとづくり」、サブテーマを「人・もの・自然、すべての共生を求めて」とし、相模原をふるさとと思えるような、さまざまな人たちが交流する場・機会を創出するため、市民参加による手づくりのまつりを開催します。

### 事業の概要

市民の手によるまつりを実現するため市内の公共的団体、市民団体等の代表からなる実行委員会と、その実働部隊である3つの部会(行事、会場、交通)を組織し、事業の企画、準備から当日の運営までを担当しています。その中でも、参加団体から1名づつ行事運営従事者を募り、当日のステージやパレードの進行、会場内のゴミ処理などの業務にあたっています。

また、市民サポーターを募集し、休憩所の運営・管理などに携わっていただいたり、市内の大学生を中心に構成される「ヤング実行委員会」によって「夜桜まつり」が企画・運営されています。

開催日	平成17年4月2日(土)・3日(日)
歩行者天国	2日(土) 13:00~17:30 17:30~20:00(夜桜まつり) 3日(日) 10:00~17:30
会場	国道16号線から市道下九沢淵野辺線までの市役所さくら通りを歩行者天国にして主会場とするほか、市民会館、あじさい会館、けやき会館、総合学習センター、西門買物公園通り(グリーンプラザ)等で催し物を行う。
主催	相模原市民まつり実行委員会 *夜桜まつりは、相模原市民まつりヤング実行委員会が主管。
催し物	パレード、展示、ステージ・イベント、絵画・写真展、模擬店・露店

### 今後の課題・展望

- ◎協賛企業やスポンサー事業導入の検討
- ◎環境対策(ゴミを出さないまつりのあり方の検討)
- ◎参加団体増加への対応(会場の拡大等)
- ◎相模原らしさの創出・演出の検討
- ◎市民まつりのあり方・将来像の検討

# 市民との共同研究及び市民の自主研究支援

## ■ 連携している団体等の名称

公募による市民研究員（個人）

## ■ 代表団体の連絡先

個人で市民研究員として参加しているため、代表はおりません。

さがみはら都市みらい研究所  
住 所 相模原市中央2-11-15  
電 話 769-9224



Eメール [surv@city.sagamihara.kanagawa.jp](mailto:surv@city.sagamihara.kanagawa.jp)

ホームページ <http://www.city.sagamihara.kanagawa.jp/profile/survpage/index.htm>

## 事業の目的

地方分権時代の自己決定・自己責任に基づく自治体運営をより一層進めるために、長期的、先進的な課題について、市民、学識経験者、NPOなど多様な主体の英知を結集して、地域特性に即した政策研究を行っています。

## 事業の概要

研究には、本市が抱える全庁的、先駆的、中長期的な課題について、市民や学識経験者、行政職員などと共同で研究をする「共同研究」と、まちづくりに関する公共的課題に対し、問題意識をもつ市民自らが研究を行う「自主研究」があります。

15・16年度の共同研究は、大都市としてのスケールメリットを生かしつつ、地域における暮らしやすいまちを市民とともに創造するための「都市内分権」について、公募の市民研究員5名、政策アドバイザー1名、公募職員を加えた総勢17名体制で研究を行いました。

自主研究は、公募の市民研究員5名が、まちづくりに関して感じていることをテーマ（「都市環境空間形成の基本的方向と実現化方策の研究」「地域情報ネットワークの構想」「相模原市の樹林と保全計画」「学校支援と『地域教育力』の向上の可能性を探る」「バリアフリー道路の研究」）に研究を行い、研究所では市民研究員に対し、情報収集や関係課との連絡調整等の研究支援活動を行いました。

## 今後の課題・展望

研究成果について施策反映性を高めていくために、研究課題・地域課題の共有化を図りながら、市民研究員研究の支援体制を整えていきます。

# さがみはら市民活動サポートセンター

## ■ 連携している団体等の名称

特定非営利活動法人さがみはら市民会議  
相模原市（パートナーシップ推進課）

## ■ 代表団体の連絡先

さがみはら市民活動サポートセンター  
〒229-0036  
相模原市富士見6-6-23 けやき会館3階  
電話・FAX 042-755-5790

Eメール sagami.saposen@iris.ocn.ne.jp  
ホームページ <http://www.jf.ws27.arena.ne.jp>



さぼせんフェスタ'04での活動発表

## 事業の目的

さがみはら市民活動サポートセンターは、市民活動に関わる多くの団体や個人が手を携え、育ち合うネットワークづくりを進め、市民自身の責任を果たしながらまちづくりを行う、そんな新しい市民社会の実現に向けて、市民活動を進めている団体や、これから行おうとしている方々を支援することを目的としています。

## 事業の概要

さがみはら市民活動サポートセンターは、公設市民運営の施設で、公募により選考された特定非営利活動法人さがみはら市民会議が相模原市からの委託を受けて、管理・運営しています。

センターでは、次のような設備の利用ができるほか、市民活動の進め方や団体の情報などの相談を受けています。

会議室 25名程度の会議や研修に利用できます。2ヶ月前から予約できます。

オープンスペース ミーティングなどに予約なしで利用できるスペースです。

作業コーナー コピー機・印刷機・ラミネーター（有料）を設置しています。

情報掲示板 市民活動団体のポスターやちらし等を掲示できます。

開館時間 午前9時～午後10時（年末年始、定期清掃日などは休館）

このほか、市民活動講座など、市民活動を行う方々を対象とした講座などを実施するとともに、利用者懇談会などを通じて、市民活動のネットワークづくりを進めています。



NPO  
入門  
講座





# 男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)

## ■ 連携している団体等の名称

特定非営利活動法人  
男女共同参画さがみはら

相模原市（男女共同参画課）

## ■ 代表団体の連絡先

代表理事 石川壽々子



## 事業の目的

男女共同参画を推進する活動拠点である「男女共同参画推進センター(ソレイユさがみ)」について、市民参画による自主的、主体的な運営と専門的、継続的な事業展開を充実するため、管理・運営の委託を推進する。

## 事業の概要

委託化にあたっては、「ソレイユさがみの管理運営を考える会」の開催やセンターの登録団体への説明会などを行い、市民団体の状況等を見ながら進めた。この間、地方自治法が改正されたため、指定管理者制度を導入することとした。

指定にあたっては、公募を行い、選考、議会の議決を経て、「特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら」を指定した。指定管理者は、ソレイユさがみ事業体系に基づき、次の業務を行う。

- ・ソレイユさがみの施設の利用の承認等に関する業務
- ・男女共同参画を推進するための事業の実施に関する業務  
講座等の開催、情報コーナーの運営、市民団体の活動支援
- ・施設等の維持管理に関する業務

## 今後の課題・展望

今回の指定の期間は2年間であり、次期の指定に向けて、委託化による効果などの評価指標等を検討する必要がある。

# 精神障害者地域生活支援センター カミング

## ■ 連携している団体等の名称

特定非営利活動法人 NPOかむ  
地域生活支援センター カミング

## ■ 代表団体の連絡先

所在地 相模原市淵野辺4-15-6 ヴィーナス2階  
電話 042(759)5117  
Eメール [comming@nifty.com](mailto:comming@nifty.com)  
ホームページ <http://homepage3.nifty.com/coming/index.htm>

## 事業の目的

地域で生活する精神障害者の日常生活支援、相談、地域交流活動の促進等を行なうことを通じて障害者の自立を支援し、社会参加を図る。



スタッフミーティング



テーブル、ソファが備えられた家庭的な雰囲気のセンター内

## 事業の概要

センター内には精神障害者が地域生活をしていく上での悩みや不安の解消のための相談窓口やキッチン・風呂・洗濯機を完備しており、利用者が地域で自立して生活できるよう幅広く支援しています。

また、自由にくつろげるフリースペースやパソコンコーナー、車いす用のトイレも設け、利用者が安心して過ごせる憩いの場所となっています。

- ◆相談事業 日常的な悩みの軽減や不安の解消その他の相談について、専門スタッフが地域生活に必要なアドバイスをを行います。
- ◆地域交流事業 地域住民との交流をとおし障害者自身が社会参加することにより市民の障害に対する理解の促進を図ります。
- ◆情報提供事業 関係機関と連携を図りながら、市内の社会資源の紹介及び機関紙・各種案内・パンフレット・インターネット等で情報の提供を行います。
- ◆ピアサポート事業 当事者間における相互支援の促進を図っていきます。

## 今後の課題・展望

オープンから1年7ヶ月が経過した現在では月500名を超える利用者があり、多様化するニーズに的確に対応するため職員体制の充実や開館日の拡充が課題となっています。

今後とも、関係機関や地域とのパートナーシップの基に精神障害者が地域で生活できるように幅広い支援に取り組んでいきたいと考えています。